

『当院における前立腺がん患者に対する骨密度検査の現状と今後の介入について』 に関するご協力をお願い

研究の目的と意義	前立腺がんのホルモン療法は急激に骨密度低下を引き起こします。その中の一つとしてアンドロゲン遮断療法(男性ホルモン(アンドロゲン)の分泌や作用を抑え、主に前立腺がんの増殖を阻害するホルモン治療)は2~3倍の骨折リスクが報告されています。当院の泌尿器科外来には数多くの前立腺がん患者さんが受診し、ホルモン療法を受けている患者さんも多く、そこで、受診されている患者さんの骨密度測定の現状を調査して、今後の介入方法を検討する事を目的としました。
研究の方法	2021年1月1日~2025年12月31日までに当院の泌尿器科外来を受診した前立腺がん患者さんを対象として、検討項目として注射の有無、内服の有無、内服と注射の併用数、骨密度検査数と結果、整形外科他科依頼数、骨粗鬆症の治療内容、骨折歴を電子カルテから収集して調査をします。
対象者	2021年1月1日~2025年12月31日までに当院の泌尿器科外来を受診した前立腺がんで18歳以上の患者さん
利用する試料/情報	注射の有無、内服の有無、内服と注射の併用数、骨密度検査数、情報等: 骨密度検査結果、整形外科他科依頼数、骨粗鬆症の治療内容、骨折歴
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	骨粗鬆症学会で報告予定
試料・情報の利用又は提供開始日	院長による研究実施許可日
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年08月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 看護部 外来 / 看護師 / 室市 悠
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 看護部 外来 / 室市 悠